

(3) ライフサイクルコストの低減  
Ⅲ③環境と調和した施設への転換

環境共生型消波ブロックの活用

関西国際空港 2期用地造成事業

【施策の概要】

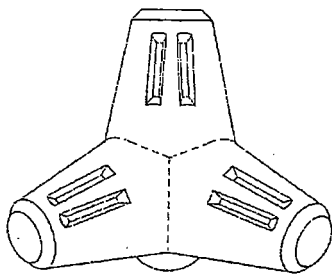
2期空港島護岸に設置する消波ブロックの一部に環境共生型消波ブロックを活用することを計画している。

【施策のポイント】

1期空港島護岸では藻場が定着し、魚介類の生息及び稚仔魚の育成の場となり、海域環境の創造が図られている。

こうした貴重な知見を踏まえ、2期護岸では①藻類の胞子の着底の増進、②着底藻類の固着力の増加等を目的として、一部に在来型ブロックの表面に凹部を設けた消波ブロックを製作・設置することにより人工藻場の増殖に資することを計画している。

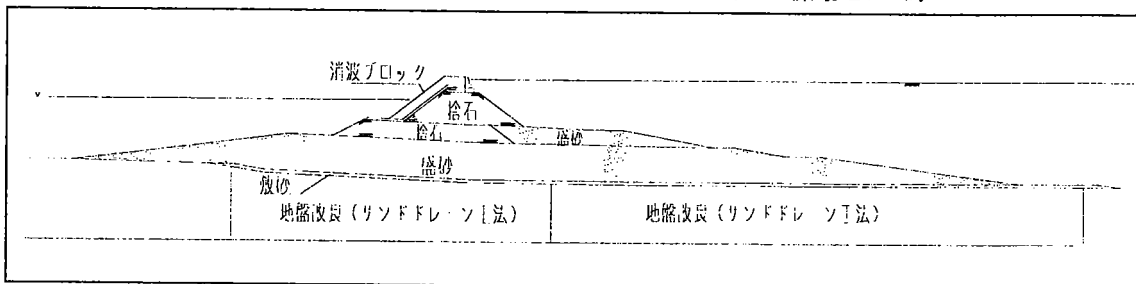
【施策の実施状況・イメージ図】



環境共生型消波ブロックのイメージ



1期護岸モニタリング  
(カメ藻場とメバル)



代表的な護岸構造